

教育委員会と教職大学院の協働による学校拠点の教員学習コミュニティ・マネジメント
「主体的・対話的で深い学び」を支える教師の専門職学習コミュニティ：養成・研修のデザインと組織の転換のために

調査の概要

◆課題認識

- ・「主体的・対話的で深い学び」（協働探究学習）を支える教師の実践力形成は伝統的な単発の伝達型研修・短時間ワークショップ中心の研修では実現不可能
- ・現実には、短時間・単発的な研修のパターンが無批判に繰り返されている。
- ・長期的組織的研修の研究開発が不可欠

◆調査研究の目的

- ・協働探究学習を支える実践力を培う長期協働探究型の研修のプロセスとデザインを組織的実践とその追跡調査によって解明
- ・教育委員会・大学の協働を通して組織化しつつ実践研究を進める。

◆調査研究の方法

- ・学校拠点の研修の組織とそのプロセスの長期的な追跡調査と実践記録に基づく比較分析
- ・教育委員会との協働による協働探究学習を中心とする教員研修の組織化とそのプロセス成果の追跡調査と実践記録に基づく比較分析
- ・総合的な組織学習過程分析を通じた長期研修のプロセス・コーディネーションとその組織化の条件をめぐる分析検討

◆調査研究校

- ・福井大学教職大学院の拠点校・連携校21校
- ・小学校11校、中学校11校
- ・教育委員会・教育研究所・大学の協働による更新制講習ほかの研修

◆現状

- ・学校拠点：ミドルリーダーコースの院生7名・学校改革マネジメントコースの院生14名
学習の転換をめざす組織的な校内研修を校内において組織的に展開しその長期プロセスを跡づける実践研究を進める。
- ・福井県教育総合研究所と福井大学教職大学院の協働開催により福井県内公立学校全教職員を対象とする更新制講習を開催し協働探究を中心とする3日間の研修を展開し実践研究を進める。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- A：単発的な学習・活動にとどまっていた研修を
実践・省察・再構成の持続的なサイクルをとまなう
長期的な研修に転換

- B：実践力形成のための長期サイクルのデザインの解明

- ①学校での自分自身の実践を捉え返す小グループのセッション、
 - ②先進校の21世紀型の学習の長期展開の記録に基づく事例検討とその共有
 - ③自身の実践記録化・省察とそれを踏まえた長期展望の形成
 - ④展望に基づく実践の展開
- ①～④のサイクルの持続的発展のためのコーディネーションが鍵

- C：長期的組織的研修の鍵は組織内コーディネーター

- 外部講師に依存した研修・外部情報の伝達に終始する研修では持続的でコーディネートされた研修は実現不可能
学校内部、研修期間内部に組織的な研修のコーディネーターグループが必要。

- D：コーディネーターの力量形成を支えるコーディネーター・コミュニティ

- コーディネーターの力量形成自体も、研修組織化への挑戦とその省察・検討、事例研究の組織化の発展的な積み重ねが必要。教師が集い研究を重ねる教育研究所・教職大学院がその役割を果たしていくことが課題となる。

21世紀の学校を創る 持続可能な協働のための

6重のコミュニティ・ネットワーク



今後の課題

◆コーディネーター・コミュニティの組織化・ネットワーク化の研究開発

- 福井県内の校内研修とそのコーディネーターの支援ネットワークを拡充するとともに
それを支える教育研究所と大学院の協働の組織化を進め、さらに
国内・国外のネットワーク化を図り21世紀の学習を実現する広汎な組織基盤を実現していく。